

障害を持つ方がその人らしく生活をするために、作業を通して支える



OB VOICE

ご自宅を訪問し
利用者様の「やりたい」を
形にできるよう支援します

毎日ご利用者様のお宅に訪問して少しでも生活しやすくなるよう、家の中の移動、トイレ動作、入浴動作など日常生活動作訓練を中心に生活に欠かせない作業ができるよう支援しています。2020年11月にこの訪問看護ステーションを立ち上げました。「家事をやりたい」「趣味を再開したい」「孫とLINEしたい」など、利用者様、ご家族様の「やりたい」を形にできるようにすると同時に、スタッフにも働きやすい場所にすることが今の目標です。



吉田 将貴さん

いろはかえで訪問看護
リハビリステーション 勤務
小田原保健医療学部
作業療法学科 卒業

どんな仕事？

その人らしい生活の実現をめざす

病気やけが、もしくは生まれながらに障害を持つ人など、子どもから高齢者まで、日常生活に支援を必要とするすべての人が作業療法の対象です。機能回復のみならず応用的動作能力(食事・入浴など日常で必要な活動)、社会的適応能力(地域活動への参加、就学・就労)など、一人ひとりに必要な活動への復帰を支援します。

どこで働く？

バラエティに富んだ活躍の場

病院・リハビリテーションセンター

訪問などの地域医療

乳幼児発達相談事業

高齢者介護予防事業

特別支援教育

医療福祉用具の研究・開発

など

仕事の展開と将来の展望

あらゆる場所で支援ができる

作業療法士の支援の場は、医療機関にとどまらず、保健・福祉・教育・労働・司法などの領域に広がり、治療だけでなく予防的な働きかけや社会復帰の支援、学校での教育支援など幅広い役割を担っています。身近な地域の中で中心的な役割を果たし、コンピューターでは代行できないオーダーメイドのリハビリテーションが提供できると期待されています。

どうすればなれる？

作業療法士国家試験に合格することが必要です。

受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の学校で3年以上学び、必要な知識・技能を修得する。厚生労働大臣指定の専門学校で3年以上学び、必要な知識・技能を修得する。などの方法があります。

